

BEPPU PROJECTとは

地域の創造的なエンジンとしてアートを活かした課題解決や価値創出を行う

アート体験の提供や多様なジャンルでの創造的な課題解決を通し、多様な価値が共存する魅力溢れる地域の実現を目指すソーシャルベンチャー。2005年発足、2006年にNPO法人化。現在、職員17名。予算規模約3億円程度(2018年)。

NPO BEPPU PROJECTの主な活動

文化芸術振興事業や学校へのアウトリーチ



文科省

地域の特徴を活かしたアートイベントや学校へアウトリーチ

新たな観光需要を掘り起こす情報発信事業



観光庁

アートとともに地域の魅力を紹介する新規顧客の開拓事業

移住・定住に向けた環境整備事業



総務省

クリエイター専用アパートや短期滞在施設(旅館含む)の運営

製品のブランディング・六次化事業



農水省

地域産品のプロデュース・販売を通して風土や景観を保全する

- 2005年 BEPPU PROJECT発足、マニフェスト発表
- 2007年 創造都市国際シンポジウム開催
- 2008年 リノベーションスペース「platform」設立
- 2009年 別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」を開催
- 2010年 BP事業の開始、「ベップ・アート・マンス」開催
- 2013年 大分県ブランド創造事業「Oita Made」の開始
- 2016年 グループ展から個展へ。「in BEPPU」事業の開催
- 2017年 創造力×企業。新たな産業創出に向けた基盤整備

福祉施設へのアウトリーチ・障害者アート



厚労省

福祉施設へのアーティスト派遣や障害者アート展の開催

クリエイティブ×企業による産業振興事業



経産省

大分県版クリエイティブ産業の創出を目指す
企業の課題解決や価値向上、新規市場の創出に創造力を活用